

第3回 肝属川水系ダム洪水調節機能協議会

令和5年3月23日
大隅河川国道事務所

1.肝属川水系ダム洪水調節機能協議会の取り組み

○関係者(河川、ダム、利水、地域)の密接な連携により、洪水調節機能向上の取組を効果的に実施することを目的として、令和3年9月に肝属川水系ダム洪水調節機能協議会が発足。

R3. 9. 30 (書面開催) 第1回 肝属川水系ダム洪水調節機能協議会

規約を策定

R4. 2. 25 第3回 肝属川水系流域治水協議会
第8回 肝属川水防災意識社会再構築協議会
第2回 肝属川水系ダム洪水調節機能協議会

R4. 12. 22 第4回 肝属川水系流域治水協議会 幹事会
第9回 肝属川水防災意識社会再構築協議会 幹事会
(肝属川水系ダム洪水調節機能協議会 幹事会)

1. 肝属川水系ダム洪水調節機能協議会の規約変更点

目的

関係者（河川、ダム、利水、地域）の密接な連携により、洪水調節機能向上の取組を効果的に実施することを目的として、令和3年9月に肝属川水系ダム洪水調節機能協議会が発足したが、より関係者の密接な連携を図るため、幹事会を設置するものとする

規約改定内容

第5条 幹事会を追加

第5条 協議会に幹事会を置く。

2. 幹事会は、別表2の職にある者をもって構成する。
3. 幹事会の運営、進行及び招集は事務局が行う。
4. 幹事会は、協議会の運営に必要な情報交換、調査、分析、対策等の各種検討・調整を行うことを目的とし、結果について協議会へ報告する。
5. 事務局は、第2項によるもののほか、幹事会構成員の同意を得て、必要に応じて別表2の職にある者以外の者の参加を幹事会に求めることができる。

※事務局は、規約第4条の4により大隅河川 国道 事務所となります。

別表2
幹事会構成メンバー

区分		所属名	役職名
河川管理者		九州地方整備局 大隅河川国道事務所	副所長
		鹿児島県土木部	河川課長
		鹿児島県大隅地域振興局	河川港湾課長
利水ダム	高隈ダム管理者	笠野原土地改良区	高隈ダム管理所長
	荒瀬ダム管理者	肝属中部土地改良区	事務局長
	関係利水者	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所	企画課長
自治体		鹿屋市	市民生活部長
			建設部長
			串良総合支所長
		東串良町	総務課長
			建設課長
		肝付町	総務課長
			建設課長
			農業振興課長
			防災管理官
2	関係機関	鹿児島地方気象台	防災管理官

2. 令和4年度 肝属川水系における事前放流実績

令和4年度の前放流実施状況

荒瀬ダム 事前放流（ガイドライン）なし

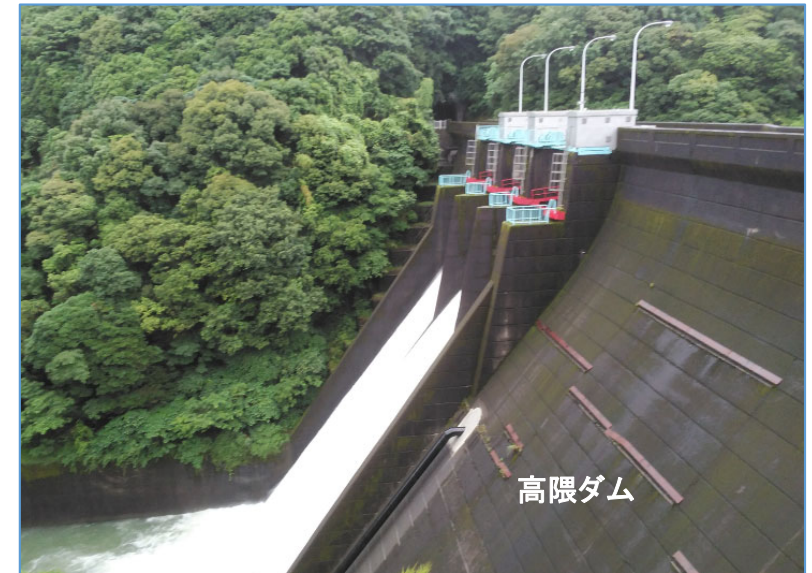
高隈ダム 事前放流（ガイドライン）なし

事前放流（臨機措置）

6月16日12時 : 梅雨前線に伴い事前放流を開始。
6月30日9時に停止。

7月29日9時30分 : 台風5号の接近に伴い事前放流を開始。
8月2日10時に停止。

9月2日12時 : 台風11号の接近に伴い事前放流を開始。
9月14日12時 : 台風14号の接近に伴い事前放流を開始。
10月3日10時に停止。



事前放流(ガイドライン) R2~

全国の利水ダム等に提示された「事前放流ガイドライン」に基づき、ダム上流の予測降雨量が基準降雨量（降雨継続時間6時間）以上であり、かつ事前放流が必要と判断されるときにの貯水位限度まで事前放流を実施する運用を開始。

	高隈ダム	荒瀬ダム
基準降雨量	176mm	196mm
貯水位限度	155.0m	143.52m
常時満水位	158.0m	144.0m
洪水調節可能容量	299.4万m ³	7.0万m ³

高隈ダムの臨機措置に基づく事前放流 H29~

平成28年の台風16号豪雨を受けて、九州農政局、鹿児島県、笠野原土地改良区、鹿屋市等関係機関により「高隈ダムの臨機の措置等に係る連絡調整会」を設置。協議の結果、高隈ダム操作規程に基づき、災害未然防止を目的に気象状況により笠野原土地改良区が協力できる範囲でダム水位を下げる運用を開始。（以下「臨機措置に基づく事前放流」）。
おおむね満水位から2~3m下げる操作を行う。

放流の効果

予め貯水位を低下させ大雨の際に洪水調節（最大約109 m³/s）を行い、下流河川の流量低減に寄与した。
（令和4年9月18日20時00分の高隈ダム地点：流入量200.66 m³/s→放流量91.54 m³/s）

3. 高隈ダムにおける堆砂対策について

○応急的な堆砂対策の実施

- ・高隈ダムは、平成28年台風16号に伴う記録的な豪雨により大量の土砂が流入し、大幅に堆砂量が増加。利水及び有効貯水容量を最大限活用した洪水調節可能容量を確保するために堆砂対策が必要。
- ・応急対策として、土地改良区が土砂採取（堆砂除去）業者を決定し、令和4年8月から翌年の3月にかけて堆砂除去工事を実施中。
- ・応急的な堆砂対策と並行して恒久的な堆砂対策の検討も実施する。

堆砂除去工事前（令和2年6月5日時点）



堆砂除去工事中（令和4年10月13日時点）



高隈ダム貯水池平面図

